

「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策 検討委員会ニュース 第4号



発行日：平成25年11月11日

発行：検討委員会事務局

第4回検討委員会 開催

■日時 平成25年10月11日（金）18時30分から

■場所 上郷地区センター

決定事項等

○議論の結果、統合校名は「上郷中学校」とすることを確認しました。

○次回はこれまでの検討結果をまとめて、意見書案を検討することを確認しました。

当日の様子



1 統合校の学校名について

学校名アンケート集計結果（票数）

合計760票の応募をいただきました。ありがとうございました。（内訳：地域・保護者の皆さんから62票、関係校児童・生徒の皆さんから698票）なお、2票以下の応募案については、紙面の都合上省略させていただきましたのでご了承ください。

名前	読み	応募総数	児童生徒応募数（※）	主な理由
上郷	かみごう	303	266	<ul style="list-style-type: none"> ・上郷小の隣にあるから。 ・庄戸中はもともと上郷中から分かれたので、元の名前でいいと思う。 ・上郷中校舎を使うから。 ・上郷小の名前を決めたのは隣に上郷中があったからなので、上郷中のままでいいと思う。
栄	さかえ	55	52	<ul style="list-style-type: none"> ・栄区の学校だから。 ・栄区の学校で、この名前ならどちらの名前にも偏っていないし、良い名前だと思ったから。 ・2つの中学名のどちらかにすれば採用されない学校の地域の人は面白くないと思うので、いっそ区の名称にした方がいいのでは。
上庄	かみしょう	54	53	<ul style="list-style-type: none"> ・庄戸中は校舎が変わってしまうので、名前だけでも残したいと思ったから。 ・上郷中と庄戸中が1つになっても、どちらの文字もあるから。 ・上郷中と庄戸中が一緒になったことが分かると思うから。 ・どっちかの名がなくなってしまうたり、両方なくなるのは嫌です。 ・上郷中と庄戸中の頭の文字をとれば、どちらの学校のみならず納得のいく名前になると思ったから。

（※）児童・生徒応募数は応募総数の内数

名前	読み	応募総数	児童生徒応募数(※)	主な理由
上戸	かみど/かみと/ うえと/じょうと	48	48	<ul style="list-style-type: none"> ・上郷中の「上」と庄戸中の「戸」で合わせると、2つの学校が繋がって、一緒に仲良く学べると思ったから。 ・両方の名前を残したいから。 ・両方の学校の名前を合わせたら、統合のことがよく分かるかなと思ったから。
庄戸	しょうど	37	37	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎を上郷中のを使うから、少しでも庄戸を合併しても残したいからです。 ・やっぱり庄戸から離れるのは嫌だから、せめて名前だけでも庄戸にしてほしい。 ・大切な学校だから。 ・校舎は上郷だから、名前だけでも庄戸にしてほしい。
犬山	いのやま	32	29	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山町にある学校だから。 ・犬山にあるし、どっちかの名前だと、ならなかった子がかわいそうだから。 ・上郷中も庄戸中も名前を残したいから、違う名前にした。 ・上郷、庄戸からは何も文字を取らないで、気持ちも新しく新しい学校。
上郷庄戸	かみごうしょうど	22	19	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらの名前も残したかったから。 ・2つの中学校が一緒になるから。 ・両校の母校の名を無くさないでほしい。 ・二つとも名前を入れたら、一緒になったと思えるから。
庄郷	しょうごう/ しょうざと	21	21	<ul style="list-style-type: none"> ・庄戸の方の人たちが、「庄」という漢字を最初につけてほしいと思ってると思ったから。 ・庄戸中の生徒と上郷中の生徒の皆さんが合併しても仲良く学校生活を送ってほしいと思ったから。

(※)児童・生徒応募数は応募総数の内数

<その他の案>

8票	横浜栄	5票	希望ヶ峰、戸郷山(こざとやま)、栄上郷、栄南
7票	上郷栄	4票	庄戸上郷、帝光
6票	狹川(いたちがわ)、緑山	3票	上郷総合、郷戸、庄上、新・上郷/新上郷

◎ 統合校の学校名についての議論(意見)

【凡例】☆・・・検討委員、→・・・事務局

- ☆ 地域、保護者の応募総数が少ないように感じました。子どもの票の中には保護者の意見も入っているのかもしれませんが、もう少し票が入ってもよかったんじゃないでしょうかと思いましたが。結果については妥当ではないのでしょうか。
- ☆ 新しい通学区域の地名は、旧来の上郷町にあたるので、やはり「上郷」とするのが最もふさわしいのではないのでしょうか。
- ☆ 庄戸中学校は上郷中学校から分かれた学校で、元のところに戻ってくるので、名前はそのまま「上郷中学校」を残す形にさせていただくとありがたいです。
- ☆ 「上郷」が一番多いですが、総数から見ると半分以下の票数で、半数以上の人たちが「上郷」以外という考えを持っているので、そちらを重視してほしいです。まず「上郷」かそれ以外かを考えたほうが良いと思います。
- 校名を決める際は、票数で決めるわけではなく、票数はひとつの参考という形で取り扱っていただければと思います。



議論の結果、統合校の学校名は「上郷中学校」とすることを確認しました。

- ☆ 高校進学を控えていて、細かな配慮が必要になる学年だと思うので、学校統合時に中学3年になる生徒たちへの配慮をお願いしたいです。具体的には、先生が変わってしまうことに対する不安感があると思うので、そのあたりを是非検討いただきたいです。
- ☆ 統合校の教職員は、上郷中学校・庄戸中学校だけの教職員ということにはならないと思います。バランスを考えてやっていくことは両校長間で話し合いをしています。教科のバランス等もあるので、なかなか難しい部分もありますが、配慮していきたいと思っています。
- ☆ 来年度1年間で部活動の交流をどのような形でやっていくのかが知りたいです。小学校で取り組んできたスポーツが庄戸中学校に部活動としてなくて、上郷中学校にある場合、上郷中学校に入学することは可能なのでしょうか。
- 来年度は、統合した新しい学校で両校の部活動がしっかりと組み合わせるような検討を行います。また、現在、どちらか一方の中学校にのみある部活動をどうするか等の検討も行っていきたいと思っています。
- ☆ これは学校統合する、しないという問題ではなく、そのようなケースで、希望する部活動への入部を前提に、その部活動のある近隣の中学校のうち自宅から最も近くの中学校に通学を希望する場合は、まずは指定された中学校の校長へご相談ください。
- ☆ 来年度庄戸中学校に入学する子は、部活動とか関係なく、いずれ学校統合するのであれば最初から上郷中学校に行きたいという傾向が出る可能性があると思いますが、そのような傾向が出た時はどうするんですか。
- 場合によっては来年度最初から上郷中学校に通いたいというような話もあるかもしれませんが、横浜市では、住所によって学校を定めておりますので、基本的には来年度1年間は庄戸中学校で学んでいただき、学校統合時に新しい学校に行ってくださいこととなります。
- ☆ 統合する時に今までの卒業制作等、思い出の品物が壊されてしまったりすると、卒業生がとても悲しい想いをすると思うので、そのような懐かしむことができるような品物はできるだけ残してほしいです。庄戸中学校の品物を上郷中学校に持ってくるような、卒業生の心情を考えた施策をしていただきたいです。
- ☆ 庄戸中学校校舎は使用しなくなるので、その際には、何らかのイベントや後々に残るモニュメント作りができると嬉しいと思っています。
- ☆ この検討委員会で扱うことではないと思いますが、今後は庄戸中学校の跡地利用の話が出てくると思います。もし同じ建物が別の施設として使われるような場合には、記念物等を残して、卒業生の方が見られるような形で進めていただけるといいかなと思います。跡地利用の検討委員会がもし出来上がるようでしたら、是非伝えていただきたいです。
- ☆ 旧野七里小学校のグラウンド等は開放されて使用できるのですが、学校があった時と比べると使いにくい点もいくつかあります。庄戸中学校の跡地利用について検討する際は、旧野七里小学校の経験を活かして考えていってほしいです。
- ☆ 前回の検討委員会で、学校統合する平成27年度の上郷中学校は9学級、庄戸中学校は7学級の見込みで、学級数を単純に足し算すると16学級だが、学校統合後の学級数は13学級になる見込みだという話があったと思います。この学級編制の取扱いについて、柔軟に扱っていただきたいと思っています。具体的には、学校統合時は子どもたちの精神的なことを考えて少し学級数を多くして、徐々に基準の学級数に到達するようなやり方を考えていただきたいです。



- ◎ 検討委員会メンバーになぜ自治会長が入っているのか。
また、人数比のバランスが悪いように感じる。
- 自治会長については、個人としての立場ではなく、地域としての様々なご意見、ご質問等を集約していただく等の観点から、委員に就任していただいております。
検討委員会における自治会代表の方、保護者代表の方の人数バランスの観点から、全ての自治会からではなく、昨年度、地区連合町内会の中で検討していただき、地区連合町内会の代表として、現在の委員とさせていただきます。
- ◎ 学校統合後の庄戸中学校校舎は教育活動の場として使用するべきだと思ふ。
使用にあたっては、上郷中学校校舎から庄戸中学校校舎への移動が必要になるが、その際はスクールバスを使用することが望ましいと思ふ。
- ◎ 学校統合ではなく、小規模校の良さを活かした学校運営をするべきだと思ふ。
学校統合について再考してほしい。
- 上郷中学校・庄戸中学校につきましては、関係する地域・保護者・学校の代表で構成される「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会の中で、議論を重ねていただきました。
その議論の中で、生徒数が増えることによって、学習面等で切磋琢磨する機会が増えることや、多くの人と接することによって社会性が構築される機会が増えること、部活動の選択の幅が広がることなど、子どもたちのためにより良い教育環境を早期に確保することが大切であるという意見が多く委員から出された結果、両校を平成27年4月に学校統合する方向性が確認されました。
- ◎ 各委員が意識して主体的な意見が述べにくくなるような傍聴者とは、どのような傍聴者を想定しているのか。また、今からでも傍聴や代理出席を認めるべきだと思ふ。
- 傍聴につきましては、傍聴者がいることで主体的な意見が述べにくくなるということや、検討委員会の運営内容などが傍聴者から不正確に外部に伝わるおそれがあるなどの点から傍聴はご遠慮していただくこととすると、検討委員の議論のもと決定しており、特定の傍聴者や組織を想定しているわけではありません。
- ◎ 桂台東地区にあるフローラ桂台の中学校通学区域を現在の桂台中学校から上郷中学校へ変更してほしい。
- 本検討委員会は、上郷中学校・庄戸中学校の学校統合に関する事項に限って検討しておりますので、本件のような、その他の学校と関係する案件については教育委員会にて別途検討させていただきますこととなります。
通学区域の見直しにつきましては、地域の皆様からのまとまったご要望があった場合等に検討しており、その上で、関係校の学校規模、通学安全、地域コミュニティ、当地の宅地開発状況等を総合的に考慮し判断することとなりますが、本件の場合、桂台中学校が現在、9学級の準小規模校（中学校9～11学級）となっており、今後も準小規模校のまま推移する見込みとなっているため、現時点ではご要望のありました通学区域変更は難しい状況です。

【次回の日程】

- ★平成25年12月12日（木）18時30分から 上郷地区センターにて
（検討予定内容）
1. 意見書について
2. その他



（※）「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧になれます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>
- ・「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/sakae.html>



「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会では、皆様からのご意見を受け付けております。FAXかEメールにて、事務局（学校計画課）までご連絡ください。

- *「上郷中学校・庄戸中学校」小規模校対策検討委員会事務局（横浜市教育委員会事務局学校計画課）

TEL:045-671-3253 FAX:045-651-1417
Eメール: ky-sakae@city.yokohama.jp

